

図書館をより善い空間にするには

C1240061 朝倉奈人

- これまで以上に利用したくなるような図書館を提案する

東北公益文科大学の図書館は、自分の出身の高校や中学と比べてはるかに使いやすく、便利なものだと感じている。学習スペースも1階、2階、3階にそれぞれあり、更にはグループ学習室も利用することができる。また、図書館のパソコンでは調べ物をすることができ、新聞や学校で使用されている教科書まで置いてある。このように東北公益文科大学の図書館は、現時点で既に素晴らしい図書館だと私は感じている。しかし、自分が実際利用した経験と、利用している方々へのインタビューから、図書館をもっとより良いものにするための改善点もいくつか挙げられた。1番多かった意見は、図書館が暑いというものだ。図書館は常に空調が管理されているが、実際図書館の中は外の廊下に比べても少し温度が高いと感じた。さらには、上の階ほど暑さを感じやすく、より人の少ない上の階を利用したいと思っているが暑いので断念したという意見もあった。また、図書館が閉まるのは平日は20時、休日は16時半であり、休日遅くまで利用するには向かない所も図書館利用者が少ない原因になっているのではないかと思った。

ここから、ユーザの顕在的ニーズとして「図書館の温度を低くして欲しい」というも

のが挙げられる。

夏場は特にこれを理由に図書館を利用していない人が多いのではないだろうか。

よって私が提案するのは、図書館の3階を涼しい空間として提供することである。人によって適正温度が変わるために、1、2階を涼しくしてしまうと今度は寒いと感じる人が多くなってしまうかもしれない。暑いと感じる人のみが涼しい空間にいられるように、3階を涼しくすることが適当であると考えた。3階には過去の新聞を保存している場所もあり、調べ学習などにはもってこいな場所もあるだろう。

これにより、暑いことを理由に図書館を利用していない人が図書館を利用するようになり、図書館の利用者の増加が見込めるだろう。夏場は特にカフェテリアなどほかの勉強空間も暑いと感じることが多く、涼しい勉強空間が欲しい人も多いのではないだろうか。実際、室温は人間が勉強をするのに効率的な面だけでなくやる気をも影響してくれるという研究結果も出ている。なぜ室温によってこのような影響が及ぼされるのか、それは、脳が人間の体温以上に上昇しないようにバランスを取ろうと体内の熱の発生と放熱に使われているためだ。昔の言葉に頭寒足熱という言葉もあるように、頭を冷やして足も温めることが健康によく、また勉強にもよりのである。

3階を涼しい空間にすることで、利用者も増えるだけでなく、勉強効率も上がりることが期待されるだろう。

